

## 平成24年度第2回平塚市文化振興委員会会議録

【日 時】平成24年11月2日（金）14:00～16:00

【会 場】平塚市民センター3階 中会議室

【出席者】

委員8名：石川幹夫委員、牛田洋子委員、片山興大委員、  
小中山彰委員長、中野恵子委員、平岡喜久雄委員、  
平野恵美子副委員長、森伸一委員  
（欠席：岩崎由紀子委員、関本耕司委員）  
事務局3名：文化・交流課長 課長代理 担当者  
傍聴人：なし

【配布資料】

- 1 平成24年度第2回次第
- 2 第1回会議録
- 3 資料①平成24年度基金活用事業進行状況
- 4 資料②平成24年度事業仕分について
- 5 資料③見附台周辺地区土地利用計画整備方針  
素案に関するパブリックコメント結果
- 6 資料④平成25年度基金活用事業案
- 7 資料⑤平成24年度文化振興に係る会議等予定

### 1. 開会

文化・交流課長

### 2. 前回会議録の確認

質問・意見等

委員：（公財）平塚市文化スポーツまちづくり振興財団のイベントニュースが全戸ポスティングになったと記載があるが、コストや効果に変化があるのか？

事務局：コスト自体は変わっていない。湘南ホームジャーナルの誌面としてイベント情報が載っているが、財団が配布方法を変更したのではなく、湘南ホームジャーナルの配布方法が新聞折り込みからポスティングに変わったためである。新聞をとっていない世帯にも配布されるようになったはずである。

### 3. 議題

#### (1)平成24年度文化事業進行状況

##### 資料①平成24年度基金活用事業進行状況

○（公財）平塚市文化スポーツまちづくり振興財団の事業については「湘南の風にのって」及び各事業チラシを参照してほしい。各事業は予定通り実施されている。平塚市文化振興基金の活用内訳は出ていないが、財団としての全体予算に基金が充てられている。

○囲碁の魅力に触れるための事業として、2月に囲碁を知らない方にも参加していただける囲碁教養講座を実施することになった。二十四世本因坊秀芳と吉原（梅沢）由香里五段をお呼びすることが決まっている。

○市民文化啓発事業として、11月から1月の間に小学校6校でアウトリーチを実施する。内容はバイオリン、ピアノ連弾の2種類。また、社会教育課と連携し、八幡山洋館で開催する無料のコンサートの経費として一部基金を活用することとなった。地域の演奏家なども多数参加しているコンサートで、年に数回実施している。

質問・意見等

委員：基金を活用している上級囲碁教室の生徒数は現在何人くらいか。

事務局：20名弱程度と聞いている。長年の囲碁教室の成果として高段の子どもたちが育ってきたので、昨年度この教室を開設した。他のクラスの子どもたちも段位が上がってくれば編入できるので今後の励みになればと考えている。

委員：八幡山のコンサートの開始時間が9時半では早いように思う。声楽の方などがこの時間帯にあると声が出にくいと思うので配慮した方がよい。

委員：市民文化啓発事業の予算70万円の内訳はどのようなものか。

事務局：アウトリーチは小学校1校につき10万円で6校、八幡山の洋館コンサートには3万円、アウトリーチに

必要な体験用バイオリンのレンタルとして2万である。また、1月に学校の音楽教諭や八幡山コンサートの若手の演奏家を対象にアウトリーチに関連した研修を予定しているがその謝礼として一部を支出する予定である。また、文化庁の支援事業を利用して、アドバイザーからアウトリーチ事業に関する助言をいただいている。承認された日数の謝礼は文化庁が負担するため、市の負担はない。財団法人地域創造、福島県のいわきアリオスのプロデューサーを務める方にきていただいている。

委員：八幡山の演奏会はどのように出演者を決めているのか。

事務局：公募している。出演者への謝礼は出ていない。

委員：スポンサーがつくような事業にはならないのか。

事務局：事業のスタートとしては八幡山洋館の有効活用という理由があった。今のところスポンサーの協賛は想定していないと思う。

委員：演奏家などにもお金にこだわらず協力をしてくれるという方が出てくるのではないかと。

委員：社会教育課から伝統芸能の普及、PRのために文化連盟で協力いただけないかという要請があった。数団体は手を挙げ、喜んで協力したいという姿勢である。趣味という域を出て、活動を広げて役に立ちたいというボランティア的な想いを持った団体も出てきている。

委員：囲碁教室で上級の子どもたちに対し、何かお金以外での支援もあるのか。

委員：(公財)平塚市文化スポーツまちづくり振興財団に関東大会以上の大会などへ進むと、遠征費を助成する制度がある。囲碁でも全国大会に進む子どもたちがいるので活用している。

委員：応援しているということをもっと盛大にPRするべきだと思う。事業仕分などで厳しい意見を言われているのを見ると、実際にいろいろやっていることを知っている身としてはもっと派手に宣伝して、市民の支持を得るべきだと感じている。

委員：広報誌や財団のホームページなどへの掲載は行っている。PRについては改善していきたい。

事務局：事業仕分での指摘事項についてはこの後の議題にある。PR方法の改善は大きな課題と認識している。

委員：囲碁が強くても、市の関係の事業に出てこない方もいるのではないかと。いろいろな事業に参加してくれると把握できると思うが、まったく別のところで活動している方もいるかもしれない。

委員：対抗戦、級位認定大会や囲碁まつりなど様々な機会があると思うので何かの形で参加している方が多いとは思いますが、まったく出てこられない方もいるかもしれない。

委員長：囲碁をやる方は数学脳が発達し、論理的思考に強いという話を聞く。教育上のメリットを強く出すことも学校などへ取り組みを呼びかけるPRのポイントになるのではないかとと思う。

委員：租税教育など、「～教育」とうたってぜひ早くから学校で実施したいと日々たくさんの方の提案を受けている。もちろん効果もあると思うが、学校現場は授業時間が本当に足りず、対応できないものがほとんどである。囲碁部は市立中学では現在2校しかなく、以前は部があつて強かった学校でも部員が入らず維持できなくなっている。指導する教員の問題等もあり、存続が難しい現状である。子どもたちへの普及という想いはよく理解できるが、学校としての協力は大変難しいという点も御理解いただきたいと思う。

委員：個人的には、一度始めたものをずっとやることよりも、子どものうちにできるだけたくさんを経験し、選択肢を増やしてあげることが重要だと思う。

委員：以前いた学校で囲碁の強い女子生徒がいたが、コンピューターで覚えたと言っていた。現代ではそういうたしなみ方も実態としてある。

## (2)平成24年度事業仕分について

### 資料②平成24年度事業仕分について

○事業仕分が8月11日に実施された。地方公共団体のより効果的な運営のために、外部の視点で見直しを行うことが目的であった。

○全20事業を、10事業ずつ2組に分けて実施された。文化・交流課では市民文化振興補助事業、囲碁文化振興事業の2つが対象となった。

○指摘事項は別紙のとおりであるが、全体として効果を図る指標の不足、補助団体の選定根拠等に厳しい御意見をいただいた。この結果すぐに事業を廃止するという結論ではなく、改善に努めるという形になった。

#### 質問・意見等

委員：かつては文化に対してスポンサーの存在が不可欠で、権力者などが支えてきた。現代は、一つの文化を一般市民が支えるということは無理であり、税金で広く浅く支えざるをえない現状だということを理解する必要があると思う。文化は長時間をかけて育ちつながっていくもので、何年やったから数値として効果が見えなければならぬという論点では乱暴なように感じる。

事務局：文化・交流課と（公財）平塚市文化スポーツまちづくり振興財団文化事業課で実施している事業であり、予算削減の中、いかに効果的に質をおとさずやっていくか様々な方法を一緒に考えていかなければならない。今後、具体的に個々の事業での受益者負担や、効果の把握に努めなければいけないと考えている。今年度の仕分の対象になった20事業のうち2事業が文化・交流課の所管であり、文化をぜいたくなもの、生きるために不可欠でないものにとらえる考え方も背景にあるように思う。即座に文化行政の効果をいわゆるPDCAサイクルにあてはめることは当然難しいが、このような状況で理解を求めるには結果を示さなければいけない状況になってきている。

委員：予算的なことを解決するひとつのやり方として、やはりボランティア人材の育成が不可欠になってくるのではないと思う。

委員：知名度の高い人だけでなく、これから活躍しそうな方を発掘して予算をかけずにいいものを発表していくこともできるのではないか。世の中には名は知られていないが芸のある人はたくさんいると思う。

委員：場づくりという施策の大切さがあると思う。奈良美智さんという画家は青森の出身で、日本ではほとんど評価されていなかったが外国で評価されてから大人気の画家になった。横浜市美術館はいち早く彼に発表の場を与えた。芸術文化に携わる人たちに発表の場を積極的に提供していくことは大変重要だと思う。地味な活動かもしれないがやるべきこと。

委員長：平塚市文化振興指針の基本理念を「人が輝くひらつか文化の創造」とした。市民の文化活動を支えていくということがやはり柱になっていくべきではないと思う。

### (3) 見附台周辺地区土地利用計画整備方針について

#### 資料③見附台周辺地区土地利用計画整備方針素案に関するパブリックコメント結果

○37名、2団体から113件の意見が寄せられた。内容は資料のとおりである。複合施設であることから、市民センターに限らない意見も多数ある。

○来年度はPFIという手法の実現性について具体的に調査を行っていく予定である。

#### 質問・意見等

委員：業者選定はどのように行うのか。

事務局：まず平成25年度にPFIの手法で進められるのかどうか自体を様々な視点で検討する予定であり、その後業者選定という流れになる。

委員：実際に進める過程で、まだ利用者の意見を反映する余地はあるのか。

事務局：あると思う。また、平成18年度に作成した新文化センター基本構想には利用者の意見を取り入れている。

この構想の内容がおおむね活かされている。

委員長：PFIが不可能ということもあるのか。

事務局：実際に手を挙げる業者が存在するののかも含めた調査だと思う。

委員：実際にPFIの手法で建てた参考となるような文化センターがあるのか。

事務局：まちづくり政策課などでは把握していると思う。今後情報があれば随時この会議で提供していく。

委員：文化センターについては文化連盟のように実際に使用する団体からの意見は参考になるのではないか。

事務局：平成18年度に新文化センター基本構想を作った際、文化連盟さんには御意見をうかがっている。しかし、  
当時は複合施設ということはイメージしていなかったのもまた違う御意見があるかもしれない。

委員：パブリックコメントを見ると、市民センターに関する御意見の中で半数くらいが市民センター自体をい  
らないとするような内容である。これをすべてとらえることはないと思うが、市民センターの是非を  
問うようなことにはならないか。稼働率を増やすなどの対策はあるのか。

事務局：現在は大ホールと会議室7室のみだが、小ホールや音を出すリハーサルに対応できる場所がないなど、  
ニーズに応えられていないと感じている。そのような設備ができれば稼働率はそれなりに上がると思う。  
また、築50年を迎えており、建物自体の耐久性などを考えるとやはり新文化センターの建設が望ましい。

委員：新文化センターを建てるだけでなく、アプローチについて強く改善を望む。新文化センターまでの道  
のこともまちづくりの視点でぜひ考えてほしい。

#### (4) 平成25年度文化事業案

##### 資料④平成25年度基金活用事業案

○(公財)平塚市文化スポーツまちづくり振興財団の事業としては囲碁文化振興事業、市民文化振興補助事業と  
して取り組む。参加型、普及型事業は例年並みに実施していく。

○囲碁については、プロに教わる囲碁教室と、裾野の拡大を目的にした多様な事業を展開していきたい。

○市民文化啓発事業としてはアウトリーチが3年目を迎えるため、学校のニーズにも応え実施数をいくつか増や  
す方針である。また、各種助成制度を利用して助言を受け、地域演奏家の登用などに向け研修等を実施できる  
環境づくりに充てていきたい。

##### 質問・意見等

委員：平塚市文化振興基金には年間いくらの寄附が入ってきているのか。

事務局：まず利子として毎年28万円と、寄附として37万円程度である。過去に100万円以上いただいていたこ  
ともあるが、東日本大震災以降、これまで平塚市文化振興基金に御寄附いただいていた分が震災の義援  
金に充てられている例もある。

委員：(公財)平塚市文化スポーツまちづくり振興財団の事業展開としては、予算の5%シーリングがあり厳しい  
状況の中で、参加型事業の拡充や、鑑賞型事業の利益をやりくりする等工夫してきた。平成24年度はオ  
ーケストラの公演は実施せず、小規模な事業を充実させた。平成25年度は神奈川フィルハーモニー管弦  
楽団の公演、無料で実施している平塚フィルハーモニー管弦楽団のはじめてのオーケストラなど、地域  
と関係の深い事業を実施する予定。囲碁では平成24年度は本因坊戦を平塚で実施したが、毎年実施する  
ものではなく24年度のみ誘致した。女流棋聖戦は例年どおり平塚で第一局を実施する予定。囲碁教室は  
例年どおりの予定で行う。

#### (5) 組織の改正について

○平塚市にはいくつかの審議機関があり、平成25年に全体的な見直しが予定されている。この委員会も見直しの

対象になっており、25年度移行の体制を検討してきた。

- 「懇話会」というスタイルに移行する。特徴は、委員長を設置せず、市が意見を求める会議として招集するところ。「座長」という名で意見交換を活発にする目的で互選することができる。
- 話し合う内容については現在のとおりでありますが、組織の位置づけが変わるという点だけ御承知いただきたい。

質問・意見等なし

#### 4. その他

次回会議日程 平成25年 3月 15日(金)

資料⑤平成24年度文化振興に係る会議等予定

#### 5. 閉会

以上